

“日清食品カップ” 第35回全国小学生陸上競技交流大会 開催要項

開催趣旨

近年、全国的に児童の体位向上は著しいものがありますが、それと平行して基礎体力の向上が望まれているところであります。一方、多くのスポーツが低年齢者層に普及しつつあり、スポーツ関係者としては誠に喜ばしいかぎりであります。

そうしたなかで、各スポーツの指導者からは、小学生の基礎体力の向上とともに、あらゆるスポーツの基本である「走る」「跳ぶ」「投げる」ことの正しい指導が強く望まれております。

そこで日本陸上競技連盟では、夏休みの期間を利用して、小学校高学年の児童を対象に陸上競技の基本技術の習得を目的としての競技会を開催いたします。また、大会を通じてグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養、陸上競技を通しての基礎体力の養成を図ります。本交流大会が、小学生のみなさんが生涯を通してスポーツに親しんでもらえるきっかけとなるよう願って開催いたします。

上記の趣旨を十分に配慮しながら、以下の開催要項に従い第35回大会を開催いたします。

1. 開催要項

- [目的] 研修を通してグループ生活の中でのよい友達づくりやマナーの涵養を図る
あらゆるスポーツの基本とされる陸上競技技能の習得を図る
わが国スポーツ界の底辺拡大を図り、小学生の健全なる心身育成の一端とする
小学生を指導する陸上競技指導者の研鑽を図る
- [主催] 公益財団法人日本陸上競技連盟
- [後援] スポーツ庁 公益財団法人 安藤スポーツ・食文化振興財団
公益財団法人日本スポーツ協会 日本スポーツ少年団 読売新聞社
- [主管] 一般財団法人神奈川県陸上競技協会
- [協賛] 日清食品ホールディングス株式会社
- [協力] アシックスジャパン株式会社 株式会社ニシ・スポーツ ミズノ株式会社
- [期日] 2019年8月9日(金)・10日(土)
- [会場] 神奈川県横浜市・日産スタジアム
- [参加者] 小学校5・6年生に該当する年齢で、各都道府県での選考会を経て選ばれた
代表選手14名と指導者3名とする

2. 選手・指導者日程(予定)

| 8月9日(金)※予定 | 8月10日(土)※予定 |
|------------|--------------|
| 受付 | 開会式 |
| フリー練習 | 競技会 |
| 研修会 | フレンドシップパーティー |
| 指導者研修会 | |
| 監督会議 | |

3. 競技会要項

(1) 種目および参加人員 *各都道府県は、次の範囲で選手団を編成する。

| 実施種目 | | 人数 | 種目数 |
|------------------------|----|----|-----|
| 5年100m | 男女 | 2 | 2 |
| 6年100m | 男女 | 2 | 2 |
| コンバインドA：80mハードル・走高跳 | 男女 | 2 | 2 |
| コンバインドB：走幅跳・ジャベリックボール投 | 男女 | 2 | 2 |
| 男女混合4x100mR | 混合 | 6 | 1 |
| 選手合計 | | 14 | 9 |
| 監督及び指導者 | | 3 | |
| 合計 | | 17 | |

※支援コーチ（自費参加）：4人以内

(2) 全国大会への参加資格ならびに条件

- ①選手は小学校5・6年の年齢に該当する児童であること。
 小学5年生種目：2008年4月2日～2009年4月1日の間に生まれた者
 小学6年生種目：2007年4月2日～2008年4月1日の間に生まれた者
- ②監督・指導者は都道府県陸上競技協会が推薦する者で、以下の条件を満たしていること。
 - ◇JAAF公認コーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技コーチ・上級コーチ）
 又は、JAAF公認ジュニアコーチ（日本スポーツ協会公認陸上競技指導員・上級指導員）有資格者
 - ◇監督・指導者のうち必ず1名は女性の有資格者
 - ◇申込時、必ず日本スポーツ協会登録番号の記載が必要
- ③選手の選考は本要項の段階を経ること。
- ④リレーメンバーのうち、1名でも他種目に回った場合、そのリレーチームは全国大会への出場資格を失う。
- ⑤同一人が2種目を兼ねて出場することはできない。（コンバインドA・B、リレーも1種目とする。）
- ⑥居住都道府県と異なる都道府県でのチーム所属は可能とする。ただし、1人1所属とし、複数チームへの所属は認めない。

(3) 選考会

- ①各都道府県陸上競技協会による選考会を経た後にリレーチームおよび単独種目・コンバインド種目の出場選手を選考する。
- ②選考会への出場については、1人1都道府県とする。複数都道府県での出場は認めない。

(4) 競技規則

- ①2019年度日本陸上競技連盟競技規則に準ずるが、児童である年齢を考慮した教育的配慮の元に競技を進行する。
- ②競技方法は別紙1の通りとする。

4. 研修・交流会要項

47都道府県から代表として参加する小学生は、日程表に定められた研修会に参加する。

5. 申込方法

各都道府県陸上競技協会による選考会終了後、1週間以内に下記の手順で大会事務局あてに申込みをする。
(※選考会の開催日が申込締切間近の場合、終了後ただちに申込みを行うこと。)

最終の申込締切については下記のとおりとし、原則として、申込締切を過ぎた申込みは認めない。

(手順1) Eメールにて参加申込書データの提出

「指導者・選手申込書」の必要事項を明記し、2019年7月17日(水)までにデータを下記の
エントリー・輸送事務局へ必ずEメールの添付ファイルで提出する。

(手順2) Eメールにて「大会参加同意書」、「健康診断書」の提出

2019年7月19日(金)までに「大会参加同意書」、「健康診断書」のデータを下記のエントリー・
輸送事務局へEメールの添付ファイルで提出する。

※原本は、各チームで大会終了時まで保管すること。

※大会参加同意書内<大会規約>2に該当する場合は、「健康診断書」の提出が必要。

申込先 Eメールアドレス： nissincup@jaaf.or.jp

※送信の際、件名に「〇〇都道府県・第35回小学生陸上申込書」と明記すること。

6. 宿泊・交通機関

選手団は、主催者が定めた交通機関で8月9日(金)の指定された時間までに集合し、解散まで主催者が定めた
宿舎に宿泊する。

7. その他注意事項

①競技方法、競技者注意事項については別途お知らせします。

②競技場内での写真・ビデオ等の撮影について

本大会主催者より各選手団に40枚のリボンを配布する。リボンをつけていない者の撮影は禁止とする。競技場
内で撮影する場合は、リボンが後ろから確認できる位置(左肩)につけること。リボンが確認できない場合、
警備員もしくは大会関係者よりお声掛けする場合がある。

③写真の二次使用について

本大会主催者が認めた報道機関や大会の協賛・後援の各社が撮影した写真等を、新聞・雑誌・大会報告・ホーム
ページ等での公開、また、次回大会のポスター・パンフレット等に使用することがある。

④主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、日本陸上競技連盟個人情報保護方針に基づき取扱う。

尚、取得した個人情報は大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、その他競技運営及び
陸上競技に必要な連絡等に利用する。

“日清食品カップ” 第35回全国小学生陸上競技交流大会

競技方法・表彰

1. 競技に際してはオールウェザー用のスパイク又はシューズを使用すること。

2. トラック競技

- ①スタートの合図はイングリッシュコールとする。
- ②スタートはクラウチングスタートを原則とする。スターティングブロックは使用しなくても良い。同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とし、オープン参加として走る。
- ③リレー競走（男女混合4 x 100mR）は男女各2名から編成され、走順は自由とする。
- ④リレー競走におけるテイク・オーバー・ゾーンは基準点から手前20m後ろ10mの合計30mとする。テイク・オーバー・ゾーン外から走り出してはならず、ゾーンの中でスタートしなければならない。
- ⑤リレー競走に出場する選手のユニフォームは原則としてチームの全選手とも同一デザインとする。ただし、男女による型の違いは認めるものとする。
- ⑥リレー競走のエントリー者のうち、リレー競走に出場しない選手は友好レース（100m）に出場できる。
- ⑦80mハードルは、ハードルの高さ70cm、ハードル間7m、ハードルの台数9台、スタートから第1ハードルまで13m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
- ⑧100m（5年・6年）、男女混合4 x 100mRでは、予選をタイムレースで行い、A決勝を予選上位8名までの選手・チーム、B決勝を予選9番～16番までの選手・チーム、17番～24番までの選手・チームをC決勝とする。

3. フィールド競技

- ①走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とする。
- ②走高跳は、自分が申告した高さから試技を開始し、同じ高さを2回失敗した時点で終了とする。
- ③走幅跳、ジャベリックボール投は全員2回の試技とする。
- ④ジャベリックボール投の助走距離は15m以内とする。
- ⑤ジャベリックボール投の試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。
*羽だけを持って投げることは禁止する。

4. コンバインド競技

- ①本大会におけるコンバインド競技は以下の順で行う。
コンバインドA：80mハードル、走高跳
コンバインドB：走幅跳、ジャベリックボール投
- ②各種目の得点は、『JAAF 小学生混成競技得点表（2019）』による。
※『JAAF 小学生混成競技得点表（2019）』は日本陸上競技連盟ホームページにて公開
- ③80mハードルと走幅跳における風速は得点・順位に影響しない。
- ④100点以下の記録は、すべて100点とする。

- ⑤スタートまたは試技を行ない、参考記録（80mハードルにおけるオープン参加時の記録）、記録無し、失格の場合は、50点（参加点）とする。
- ⑥スタートまたは試技を行わない場合は、棄権とし、0点とする。
- ⑦最初の種目で棄権した競技者は、2種目目には出場できない。
- ⑧2種目の合計得点で順位を決定する。合計得点が同点の場合は、同順位とする。

※都道府県陸上競技協会による選考会においては、各都道府県にて定めた競技方法とする。

5. 表彰

- ①各種目（友好100mは除く）の8位までの入賞者には賞状、副賞、9位～24位までの入賞者には賞状、参加者全員に参加記念品・記録証を授与する。

※上記を含む、詳細については、【監督・競技者注意事項】として後日提示します。